

## 地域活性化雇用創造プロジェクト（第2期） 事業報告

中村創一\*，舟木淳夫\*，服部 俊\*，瀬戸彰文\*  
金森陽一\*\*，村川 悟\*\*

Report of Regional Activation Project to Create Employment (2nd Stage)

Soichi NAKAMURA, Atsuo FUNAKI, Suguru HATTORI, Akifumi SETO,  
Yoichi KANAMORI and Satoru MURAKAWA

### 1. はじめに

三重県では、令和元年度から地域を牽引し、成長を続ける主要産業分野（自動車、食・観光関連産業）において、ICT化にも対応し得る高度産業人材を育成・確保し、現場の効率化や省人化など生産性の向上を進めることにより労働力不足を解消するとともに、質の高い雇用と職場定着を図る「地域活性化雇用創造プロジェクト（第2期）」に取り組んでいる。本プロジェクトは、公益財団法人三重県産業支援センターが三重県から事業を受託し実施している厚生労働省の補助事業で、県内企業、経済団体、金融機関、教育・研究機関、労働団体、産業支援機関及び国の機関等を会員とした推進協議会を設置し、事業運営を行っている。

本報告では、地域活性化雇用創造プロジェクト事業の中で、工業研究所が取り組んだ「高度ものづくり技術者育成事業」について紹介する。

### 2. 事業の実施状況

高度ものづくり技術者育成事業では、県内企業の技術力高度化を目的に、最先端ものづくり機器（高度3次元加工機器）に関する研究会及び当該機器の利用を通し、今後必要とされる高度ものづくり技術者の育成を支援した。

本事業にて開催した最先端ものづくり機器に関する研究会を表1に、工業研究所に設置した機器を表2に示す。なお、研究会の様子を図1に示す。

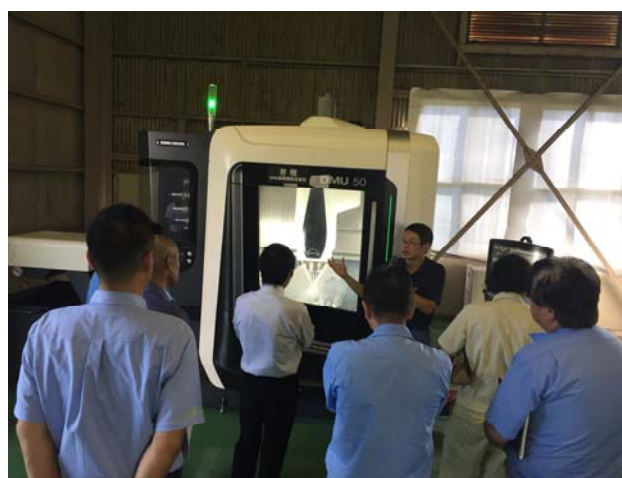


図1 研究会の様子

### 3. 事業の実施結果

最先端ものづくり機器に関する研究会は延べ31団体、41名の方が受講された。また、当該機器の利用者は、20団体、78件の機器使用実績があり、必要に応じ個別に支援等を行った。

これらの取り組みについては、次年度においても同様の事業を予定している。

\* ものづくり研究課

\*\* 金属研究室

表 1 令和元年度に開催した最先端ものづくり機器に関する研究会

検討会	開催日	場所	内容	参加者数
高度ものづくり研究会(第1回)	令和元年 8月30日	工業研究所	【講義】 X線CT装置の概要 【実技】 X線CT装置の操作方法について	11名
金属ものづくり研究会(第1回)	令和元年 9月18日	工業研究所 金属研究室	【講義】 砂型積層造形を活用した鋳型設計 溶湯熱分析を活用した評価技術 【打ち合わせ】 研究会参加企業と共同で実施する内容	8名
高度ものづくり研究会(第2回)	令和元年 9月25日	工業研究所	【講義】 CAD/CAMの基礎と5軸加工の対応 【実技】 5軸加工機によるデモ加工	11名
金属ものづくり研究会(第2回)	令和元年 12月18日	工業研究所 金属研究室	【講義】 積層型三次元造形法による鋳型作製に最適な高耐熱無機粉末材料 溶湯性状数値化のための熱分析装置の開発 【実験結果】 積層造形砂型の試作および鋳造試験 企業の溶湯の熱分析	11名

表 2 工業研究所に設置した機器

装置名	装置概要
X線CT：(株)島津製作所	inspeXio SMX-225CT 最大積載サイズ：φ350×H300, 9 kg, 最大スキャン領域：φ250 mm, 最大管電圧:225 kV
3次元CAMソフトウェア： CNC SOFTWARE,inc	Mastercam Educational Suite Mastercam Educational Suite Multi Axis Educational NC2Mcam

※記載の商品名は各社の商標または登録商標です